

【2月1日（月）放送朝礼の話】

全校のみなさん、おはようございます。今日から2月です。

明後日2月3日は、「立春」です。「立春」とは、昔の季節を表す言葉である「二十四節気（にじゅうしせっき）」の一つで、「寒さの峠を越して、春の気配が感じられる頃」という意味だそうです。冬と春の季節を分ける「節分」の翌日になります。だから、明日2日が節分になります。「節分って2月3日じゃないの？」と思う人もいるかもしれません。

2021年の「立春」は、なんと124年ぶりに2月3日になるのだそうです。ちなみに昨年まで36年間は2月4日でした。このことを知ると、今年の節分や立春は、何だか特別な気持ちになりますね。これからしばらくは4年に一度2月3日が立春になるそうですよ。

昔の暦では、「立春」がお正月でした。その前日の「節分」は、今でいう大晦日にあたるのです。昔は、病気や災い（わざわい）は魔物である鬼の仕業だと思われていました。だから、新しい1年を災いがなく元気で過ごせるように、魔物である鬼に豆をまいて退治するようになったと言われています。

例年、「鬼は外！福は内！」と大きな声をかけて豆まきをしますね。先生は大人になってから毎年こんな風に思います。本当の鬼は一人一人の心の中にあるのではないかと。

- ・やらなくてはならないことをさぼろうとする鬼
- ・してはいけないと分かっているのに、我慢ができずにやってしまう鬼
- ・友達に嫌なことを言ったりやったりする鬼 などなど

みなさんの心の中にもいろいろな鬼がいませんか？そんな心の中の鬼を外へ追い出し、

- ・自分がすべきことをきちんとできる福
- ・周りの人にやさしく接することができる福
- ・人のために少し我慢してあげることができる福

を呼び込める自分になってほしいと思います。今年は、大きな声を出せないなので、心の中で「鬼は外！福は内！」と豆まきをしましょう。

新型コロナウイルスの感染状況はまだまだ厳しいですが、早くワクチンを接種できたり、インフルエンザのような特効薬が開発されたりして、一日も早く世界中の新型コロナウイルス感染が収束し、平和な毎日が戻って来るようになるといいですね。

立春とはいえ、まだまだ寒さの厳しい日もありますので、風邪などひかないように元気に一週間を過ごしましょう。

以上で先生のお話を終わります。